



イヌの鼻は、どうしてぬれているの

においを、びん感にとらえるため

イヌの目は、人間に比べて、遠くはよく見えないし、色の区別もあまりできません。イヌが、ものを見分けるのによく使うのは、においと、音です。

イヌの鼻が、いつもぬれているのは、汗と脂が少し出ている、しょっちゅう舌で、ぺろりぺろりと、鼻の頭をなめているからです。ぬれた鼻なら、においがどっちの方向からきたのか、見分けやすいといえます。

真っ暗な、どうくつに入ったりしたときなどに、方向がわからなくなると、出口への道がどっちの方向にあるかを知るために、指の腹をなめて、かざしたりしますね。ぬれた指なら、かすかな空気の動きがわかるからです。

かわいた空気より、ぬれた鼻で湿らされた空気のほうが、においもかぎ分けやすくなります。

病気のときは、鼻がかわく

イヌの体のぐあいが悪く、熱があるときは、熱で鼻がかわいてしまうため、かさかさしています。そんなときは、獣医さんへ連れて行きましょう。

ねむっているイヌの鼻も、かわれています。ねながらまで、イヌが鼻をなめないからです。

(監修・今泉 忠明)

